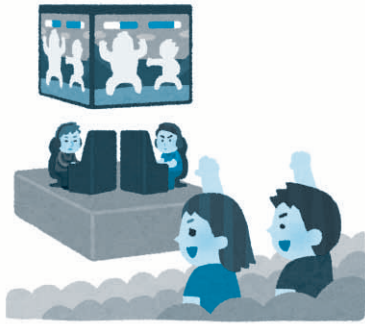




鈴木将浩（自民党市議員）

まちづくりにおける

eスポーツの活用について

問 福祉現場では、認知症予防や世代間交流等でも活用しやすいという声がある。市の検討を伺う。

答 令和3年度に寿楽荘で計画する介護予防教室で、簡単なゲーム等も取り入れてみたい。多世代間交流では高齢者も受け入れやすい活用方法を研究したい。教育現場では不登校対策や障害児支援等が効果が出ている事例があるが、

市も検討してはどうか。

答 有効な事例等を情報収集し、研究したい。

問 商店街の空き店舗や公民館等でeスポーツやゲーム等のイベントを開催し、若者等の新しい層をコミュニティに引き込む仕掛けとしてはどうか。

答 有力な課題解決手法の1つだが、理解の隔たりや依存による弊害等も懸念され、慎重に判断をしていく必要があると考える。

鎌田篤司（市政クラブ）

コロナ禍における

市民病院の経営について

問 オンライン面会の現状と今後について伺う。

答 1月下旬から試験的に実施してきた。今後は対象病棟を全病棟に広げていく。

生命の海科学館について

問 JAXAの小惑星探査機「はやぶさ2」等研究機関との連携は。

答 帰還カプセルの巡回展示など連携可能なものには手を挙げていきたい。今後の動向を注視したい。

モーターボート競走事業について

問 SGグランプリの開催について伺う。

答 開催には老朽化した施設の整備が不可欠である。環境や条件が整った際には誘致を行っていきたい。



ポートレース蒲郡

喚田孝博（自民党市議員）

蒲郡駅北地区の再開発について

問 事業概要を伺う。また駅前保育や図書館、市民交流センター等公共施設の配置を検討してはどうか。

答 事業計画区域は、駅北口に位置する蒲郡駅前ビル、蒲郡名店街ビル、トータルビル及び大和ビルの4棟を含む0.3haである。事業期間は、令和3年度に調査設計計画を始め、7年度に完了予定であり、公共施設の配置については、正確な権利分の床面積が確定後、検討していきたい。

特別支援教育について

問 特別支援学校の設置についての考えは。

答 設置に向けては、設置場所、人的配置、予算確保、県の義務教育課と高校との調整等課題は多くあるものと認識しているが、調査研究していきたい。

柴田安彦（無会派）

蒲南土地区画整理地内の相続税について

問 仮換地の指定時には、清算金額が算定されておらず、土地の過渡し面積も個別に通知されていない。そのため、過渡しのあった土地を相続した方は、相続財産の評価が清算金だけ差が出てしまい、相続税を納め過ぎているケースがあるのではないかと。

答 過渡し等の面積については、第1工区は昭和45年、第2工区は52年に換地計画の供覧を行った際に説明している。

なお、相続が発生したときに確定していない清算金は評価ができないため、相続税を納め過ぎているかどうかは把握できない。税務署からは、清算金の確定後に個別に相談をしてほしいと聞いている。問合せがあれば市でも分かる範囲で答え、こうしたことが相続時に起こりうることも伝えた。